

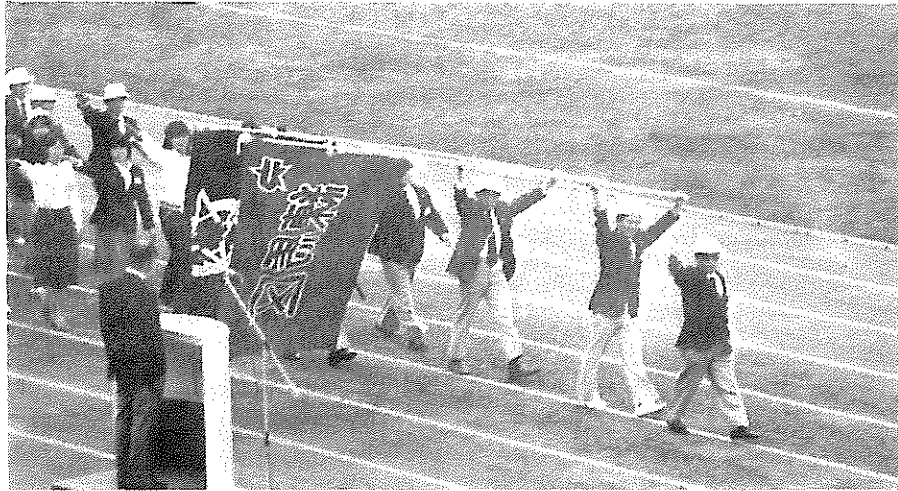
# 練馬区体育協会ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第16号

発行 昭和56年7月10日



入場する練馬区選手団

第三十四回 東京都民体育大会

女子・総合第七位 男子・十九位

女子テニス・優勝 男子ローラー・準優勝

第三十四回、都民体育大会、春季大会は、五月二十四日、駒沢総合競技場での総合開会式で開始された。区都市五十一チームの代表二〇〇人が堂々の入場行進を展開、練馬区代表選手団は、前田団長以下五十名が参加した。

本区は、男子・得点種目二十二、公開種目三、女子得点種目一〇、に男子二三五名、女子七〇名、計三〇五名の代表が出場した。

男子では、ローラースケートが第二位、バドミントンが第四位、柔道、軟式野球が入賞したものの、得点の主力を示めていた自転車、銃剣道が公開種目となり得点にならず大きく後退、前年七位から十九位と終った。

逆に、女子種目に初参加のテニスが堂々優勝、バスケット、卓球が入賞、前年二〇位から一気に上昇第七位の総合成績をおさめた。

六月七日(日)岸記念体育館に於て閉会式が行われ、入賞の各区市代表に表彰状が授与された。

練馬区は天野社会体育課長が代表として受賞した。

部別表彰

団体・区スケート連盟 個人 奥田真輔		区都市・順位・得点		男子		女子	
1	大田区	1	二二点	19	練馬区	1	世田谷区
2	世田谷区	2	一一四点		ローラースケート	2	杉並区
3	杉並区	3	九二点		バドミントン	3	千代田区
4	千代田区	4	八七点		柔道	4	大田区
5	渋谷区	5	七七点		軟式野球	5	墨田区
6	品川区	6	七三三点		他の参加点	6	品川区
7	台東区	7	七〇点			7	練馬区
8	板橋区	8	六九点				テニス
							バスケット
							バドミントン
							他の参加点
							公開種目 男子
							優勝 自転車
							優勝 銃剣道
							6 5.5 5.5 13
							三〇点
							四五点
							三八点
							三五点
							五〇点
							五二点
							六九点
							16 55 55 8 10

※得点種目の条件は参加地区が、二十五以上の場合、次年度より得点種目となる。

参加種目の成績

- テニス 桜吉
- 男子 五月十九日
- 一回戦 練馬 2-1 調布
- 二回戦 中野 1-2 練馬
- 女子 五月十八日、二十一日
- 一回戦



表彰状を受ける天野社会体育課長

- 練馬 3-0 秋川
- 二回戦 練馬 2-1 豊島
- 三回戦 練馬 2-1 小金井
- 準決勝 練馬 2-1 杉並
- 決勝 練馬 3-0 府中
- 初出場で初優勝
- 協会を創立して、わずかに三ヶ月、予選会も出来ないため、代表選手

5名を推薦、大会にのぞみました。区代表として面目を果たすべく、チームワーク、体調に留意し、一戦一戦を大切に、ベストをつくした結果が、優勝と云う大きなタイトルにつながりました。体育協会、教育委員会のご協力に深く感謝いたします。(伊藤玲子)

●ローラースケート

- 六月二日・三日・五日
- 後楽園ローラースケートリンク
- ホッケー
- 一回戦 練馬 4-0 新宿
- 二回戦 豊島 6-5 練馬

スピード

- 五〇〇米 5位 豊田純夫
- 三〇〇〇米 6位 豊田純夫
- リレー
- 2位 西村(祥) 西村(孝)
- フィギュア
- 2位 小山吉男
- 4位 小村 忠

この種目優勝・リレーも連斗二位スピードで得点、ホッケーは準々決勝で一点差で豊島区に破れたものの三点を得点、合計二十六点で、文京区につき、準優勝、十点を獲得したことは満点出来る結果と云えましょう。しかし、問題は区内に練習の場すらなく、後続選手の養成も出来ず現状維持がむずかしくなっています。

う。一日も早く、施設の出来ることをお願いする次第です。(田代)

●バドミントン

- 五月十七日、二十四日
- 青梅総合体育館
- 男子
- 一回戦 不戦勝
- 二回戦 練馬 2-1 八王子
- 三回戦 練馬 2-1 福生
- 準々決勝 練馬 2-0 新宿
- 三位決定 品川 1-2 練馬
- 女子
- 一回戦 不戦勝
- 二回戦 練馬 2-1 町田
- 三回戦 杉並 1-2 練馬

男子は昨年とほぼ同じメンバー、二回戦の対八王子戦が最初の山場で、接戦の末これを破った。第三回戦、準々決勝は、実力を出しきり、危げなくのりきり、目標を達成した。女子は昨年の主力メンバーが抜けたため苦戦が予想されたが、団結と気力で頑張った。ベスト8入りへの力が善戦と云えよう。バドミントンは本来個人競技であるが、予選会、練習会を通じ、チ

<p>上原工務店</p> <p>中村北4-20-13</p> <p>TEL 990-1111</p>	<p>武蔵野信用金庫</p> <p>大泉支店</p> <p>南大泉町147-23</p>	<p>(株) 豊島園</p> <p>TEL 990-3131</p>
--	--	------------------------------------

チームが一体となったことはよかったです。応援下さった各位に感謝いたします。(村田光二)

●軟式野球(西武鉄道チーム)

五月二十六日、二十八日  
上井草球場

一回戦  
練馬 3-2 東久留米

二回戦  
練馬 3-0 江戸川

三回戦  
荒川 6-1 練馬

一回戦は投手戦で八回に一点先取しかし九回表エラーが出て追いつかれ延長戦に入るが結着つかず十三回東京ルールとなった。  
東久留米一点、練馬もヒットで一点、スクイズで加点、辛くも勝利を獲った。

二回戦は四回に秋山がホームラン、八回にも二死二・三塁に又も秋山がヒット、投げては伊藤が完封した。

準々決勝は、川村投手の調子が悪く、エラーも加はり五回で六点をとられた。七回一点返したものの前半の失点はかえすことは出来なかった。(川村良英)

●柔道

五月三十一日 講道館

十回戦  
練馬 1-1 品川

代表戦で勝利を収める  
二回戦  
練馬 3-0 武蔵野

三回戦  
練馬 2-1 府中

準々決勝  
大田 1-1 練馬

●神林 背負投 鈴木  
坂本 引分け 向井  
鈴木 有効 森井

内容差で惜しくも敗れる  
代表選手

監督六段 村谷昌英  
大将三段 森井泰年  
中堅二段 何井孝博

先鋒初段 鈴木 也  
バスケケット

五月二十三日・二十四日  
三十日・三十一日

●男子  
一回戦  
品川 69-66 練馬

二回戦  
練馬 57-29 目黒

三回戦  
府中 69-28 練馬

●バレーボール  
男子(練馬自衛隊)

一回戦  
府中 2-0 練馬

女子(芙蓉クラブ)

一回戦  
昭島 2-0 練馬

五月三十一日 男・多摩会館  
五月三十一日 女・立川体育館

●軟式庭球

五月二十四日  
男 世田谷区営・女 駒沢公園

男子  
二回戦  
目黒 4-1 練馬

女子  
一回戦  
大田 2-1 練馬

一・二回戦で男・女共敗退したが実力的にみて大差はなかった。強いて敗因を云えば、ダブルスのチームプレーの差と思われる。来年は強化練習を増し頑張りたい。(舟崎和誠)

●剣道

五月二十四日 品川体育館

一回戦 不戦勝  
二回戦  
練馬 4-1 東久留米

●市川 ○辻川  
●田村 貫井  
●有元 加藤  
●森野 伊藤  
●羽角 ○常光

三回戦  
練馬 2-3 品川

●市川 ○木村  
●田村 小林  
●有元 ○湯浦  
●森野 ○中村  
●羽角 ○奈良

●卓球

五月三十一日 駒沢体育館

男子(一回戦シード)

二回戦  
港 3-2 練馬

八詳 2-0 浜田

中村 0-2 安藤

金 2-0 川上

島田 0-2 小川

橋本 2-0 高橋

女子(一回戦シード)

二回戦  
練馬 3-2 新宿

田中 0-2 横田

仲山 2-0 田中

川野 2-1 西山

小野寺 0-2 高橋

福田 2-0 雪野

三回戦  
練馬 3-0 港

福田 2-0 前田

仲山 2-0 ブラウン

川野 2-1 宮坂

準々決勝  
杉並 3-2 練馬

上鶴ケン 福田  
中条 0-2 仲山  
野村 0-2 川野  
合 2-0 小野寺

猪狩 2-0 田中

女子は大健闘、準々決勝で前年優勝の杉並区と対戦、大熱戦の末3-2で惜敗した。トップ福田が試合途中ラケットを割りやむなくケン敗け、これが最後までひびいた。前年同様ベスト8(吉浦)

空手道  
五月二十四日 駒沢体育館

一回戦

# 北斗建設株式会社

板橋区成増1-29-11 TEL 930-3188

練馬 4-0 文京  
二回戦  
大田 4-1 練馬

比較的若い力を集結して思いきり戦う意図をもって望んだが、決勝戦まで進出した大田の実力の前に残念ながら涙をのんだ。

● アチエリー

五月三十一日、駒沢球技場  
二十四位 一六二〇点

(参加二十九チーム)

寒さが身にしみ、年令の高い区選手への筋力を心配したが、その通りの結果となってしまった。

平常の射技とあまりにも懸隔するシューティングは精神的過緊張を感じさせた。自分の射が出来ないもどかしさから、かえって平常のシューティング精進回路を狂わせてしまっている。自分で自分を追い込んでいき、ますます自信を喪失していくと云う最悪のパターンになってしまった。(落合)

● 弓道

五月二十四日 多摩会館

四〇射・二十二中にて、トーナメント出場権を失う。

的に精神をため、一瞬の差に全てをかける弓道には、体調と精神力にかかって来る。午前中の四射、午後四射と云う進行のため、中々むずかしい。練馬は午前中二〇射中十三中と云う良い成績を収めたが、午後がしげなかつた。去年もそうであった。この四時間の空白

を如何にするかが、大きな課題だ。(広瀬)

● ライフル射撃

五月二十四日 朝霞射撃場

FSB3P60

第五位 横山茂樹 五三八点  
今回の試合から新ルールで実施が二十三日発表され、大きなショックを受けた。AR射座とSB射座に分かれて競技は同時進行する。

他区がよい成績を出しているだけになかなか得点出来ずヤキモキしている内に、横山選手が5位に入賞し、ようやく得点をする事が出来た。来年にむかって、今からその準備に入りたいと思います。(徳山)

● クレー射撃

五月二十四日 成田射撃場

トラップ 一六五点  
スキート 一三三点  
合計二八八点

練馬、裏節区が二八八点で同点と云う結果になり、ルールにより、最後の七番射手の点数が比較対称され43対45で八位裏節、九位練馬となり、入賞を逸した。

● サッカー

五月二十三日 駒沢球技場

一回戦

練馬 1-0 自黒  
PK戦 4-3

二回戦

練馬 3-1 2-1 3保合  
PK戦 3-4

● 陸上競技

五月二十四日 駒沢球技場

一般男子 一〇〇米  
優勝 宮野 明 十一秒二

一般男子 一五〇〇米  
四位 青柳頼光 四分十三秒

一般女子 一〇〇米  
二位 鈴木真由美 一三秒七

高野選手は、予選十二秒一・準決勝十一秒五、決勝十一秒二と尻上がりで見事に優勝を飾った。

青柳選手は三〇才を越える年令にもかかわらず、予選を通過、決勝で四位に入賞した。その健斗をたたえたい。

鈴木選手は都立大泉高OGで、予選では十三秒七の好記録を出しながら、決勝ではスタミナをなくし二位になった。

● 駅伝

五月三十一日、大井埠頭

第九位 二時間二六分〇秒

一区、二区、三区までは、予想通り五、六位であらそっていたが、四区のブレーキで連鎖反応が起り

五、六区にもブレーキ的現象がでて、実力が発揮出来ず九位となる。

六位十位はダンゴでゴールしただけに、もう一歩で入賞達成が出来ただけに悔まれる。(篠原)

● 銃剣道

五月三十一日 恩岡中学校  
一回戦  
練馬 2-1 江東  
二回戦  
練馬 3-0 豊島  
三回戦  
練馬 2-0 大田  
三回戦  
練馬 3-0 足立  
※ 第四ブロックで優勝  
決勝トーナメント  
練馬 3-0 村山  
練馬 2-0 新宿

練馬区チーム、優勝

監督 山永照夫  
先鋒 後藤正雄  
中堅 水本隆三  
大将 浅川勝行

● 自転車

五月十七日 西武園競輪場

実用車三五才以上五〇〇米  
一位 高村精一  
実用車二四才以下五〇〇米  
三位 中村隆夫  
実用車二四才以下二二五〇米  
二位 吉川 担  
五位 中村隆夫  
六位 竹内秀行  
実用車二四才以下二〇〇米  
五位 吉川 担  
競走車五〇〇米ポイントレース  
二位 山本力也  
六位 北見裕史  
競走車ミアウトレース

競走車ミアウトレース

<p>林 土 木 大泉学園町 2336 TEL 924-3488</p>	<p>椎橋左官工業 旭町 2-14-4 TEL 930-7662</p>	<p>(株) マテックマツザキ 中村北 1-13 TEL 998-7111</p>
--	--	---

- 二位 山本力也
- 五位 橋本元
- 競走車一〇〇〇米タイム
- トライアル
- 二位 北見裕史
- 二位 橋本元
- 六位 内堀 論
- 総合優勝 (参加二十四区市)

練馬区体育協会・定期総会

行動部隊としての新執行部編成

少林寺拳法、自転車正式加盟

テニス協会、仮加盟承認

五十六年度を迎え、区体育協会、定期総会は四月八日、区教育委員会、会議室に加盟二十五団体、一加盟申請団体表が参加して開催された。

- 一、出席代議員氏名の確認
- 一、開会挨拶 小口政雄会長
- 一、来賓挨拶 岩波三郎教育長
- 一、報告事項
  - スポーツ少年団の女子種目 (ネットボール、ソフトボール) の報告
  - 区テニス協会の設立報告
  - 五十五年度決算報告
- 収入四、三四一、一九七円
- 支出三、九一三、〇八六円
- 繰越 四二八、一一二円
- 会計監査報告
  - 徳山・横山監事
- 一、協議事項
  - 五十六年度事業計画について
  - 五十六年予算案について

常任理事、監事については、選考委員が指名され、協議の結果常任理事候補 十七名、監事 候補 二名

の氏名が発表された。拍手の内之を承認。

常任理事十七名は別室に於て協議、新執行部が次の様に決定

- 理事長 (総務) 野口嘉郎
- 副理事長 (競技) 寺崎 武
- (研修) 山下 誠
- 会計理事 (財務) 長谷川義夫
- (財務) 下村 緑
- 常任理事 (総務) 吉田邦治
- 常任理事 (総務) 藤井和男
- 井口鏡曹新
- 高橋健徳新
- (財務) 松井昭武
- 横山鉄治新
- 天野文男
- 本間弘一
- 中沢 明
- 安藤幹男新
- 吉田政巧
- (研修) 落合忠士
- 江口義之
- 広瀬 守新
- 篠原庸雄新

監事 徳山 靖 ・ 上原茂男 新

長期にわたり、常任理事として活躍された。台田友夫 (陸上競技協会会長) 滝沢栄吉 (区バスケット協会会長)

お二人を万場一で、本協会 参与への推薦を決定した。一、新執行部の紹介

一、閉会挨拶 奥山副会長

五十六年・五十七年に望む

本会協も、少林寺拳法、自転車両連盟の正式加盟、テニス協会の加入、スポーツ少年団の確立と順調に進み、二十六団体をその組織下にもつ大きな団体として生長した。特にスポーツ少年団を通じ、少年野球との関係、少女スポーツとしてのソフトボール、ネットボール両種目の育成とすゝみ、区内に於けるスポーツを網羅しつつあると云えましょう。そこで、我々は、もう一度足もとをみつめ、今こそいかにその内容の充実を計るかに眼着をめぐらす時に、あると思えます。まず、それぞれの競技団体

は、

唯なる愛好者の集団から脱皮し、組織、役員構成、事業を確立し、区内全域に競技の浸透を図ると共に、代表団体としての意識を明確に示してほしい。と同時に、全会員を掌握、その期待にそう執行こそ、荷せられた使命だと思えます。

今年こそ、区民体育大会のみで終ることなく、独自の事業開発に取り組んでいただきたい。

さて体協は、その中心となる執行部(二十四名)に大きなウェイトがかかっていると云えましょう。

<p>株式会社 工 進 精 工 所</p> <p>貫井 3-12-3 TEL 999-1111</p>	<p>(株) タムラ 製作所</p> <p>東大泉 1-19-43 TEL 925-1111</p>	<p>ブリヂストン サイクル 東京販売 (株)</p> <p>下石神井 2-31-6 TEL 995-4911</p>
---	--	---

練馬の体育の推進力たるために、  
眞の実働部隊たるために、大巾に  
若がえりを計ったのも、そこに意  
味があるのです。

○加盟団体の意識を捨て、体協  
執行者としての自覚に徹する。

○種目的意識を越え、全種目の協  
調に邁進する。

○実働部であると共に、体協の頭  
脳ともなり、担当業務に積極的  
に取り組む。

これからの二ヶ年間、現メンバー  
の勢力が、どのような結果として  
結実するか、期待をもってゆきた  
い。

そして、体協は、練馬区に於ける  
スポーツの統轄団体として、加盟  
種目はかりでなく、他のスポーツ  
にも目を転じ、老・若・男・女・  
全ての人々から親しまれ、愛され  
る「練馬体協」にならなければな  
らぬと思ひます。

又、現在の区民体育大会も、全ス  
ポーツの祭典として、区民がこそ  
って参加出来るイベントに成長し  
てこそ、我ら体協の眞の目的、意  
感ではないでしょうか。

(野口嘉郎)

### 第二回練馬区バレーボール選手権大会

#### 男子・稲高会OB、女子・練馬東

#### 家庭婦人は芙蓉が優勝

第二回大会は、二月二十二日、三  
月一日、四会場に於て家庭婦人の  
部予選を行い、都大泉北高体育館  
に於て三月八日に家庭婦人の部へ  
スト8・並に一般女子の部。三月  
二十九日に一般男子の部を行った。

主権 区バレーボール連盟  
共権 区体育協会  
後援 区教育委員会  
家庭婦人の部  
参加 四十五チーム  
準々決勝  
ひかりク 2-0 豊玉ク  
練馬ク 2-0 緑小ク  
高松ク 2-0 大泉小  
芙蓉ク 2-1 石神井ク  
準決勝  
ひかりク 2-0 練馬ク

決勝  
芙蓉ク 2-0 高松ク  
芙蓉ク 2-1 ひかりク  
1 練馬クラブ 東  
2 春日クラブ  
3 練馬区役所  
一般男子の部  
Aリーグ1位 球友会  
Bリーグ1位 稲高会  
Cリーグ1位 九友会  
Dリーグ1位 初心会  
準決勝  
稲高会 2-0 球友会  
初心会 2-0 九友会  
三冠決定  
球友会 2-0 九友会  
決勝  
稲高会 2-0 初心会

男子一部ダブルス 四七組  
決勝  
竹俣・秋葉 2 (15-8) 石黒  
15-12 本田  
三位 村田・野中組(羽桐会)  
小林・後藤組(一般)  
女子一部ダブルス 三三組  
決勝

### 第四回練馬区バドミントンオープン選手権大会

第四回大会は、三月八日・十五日  
の両日にわたり、区総合体育館に  
於て男・女・一部・一部に計一三  
九組、二七八名が参加して開催さ  
れた。

主権 区バドミントン協会  
共権 区体育協会  
後援 区教育委員会

西野・2 (15-0) 白倉  
2 (15-3) 芝賀  
(練馬ク)

三位 佐藤・西山組(中央)  
服部・市村組(府中)  
男子一部ダブルス 三三組  
決勝

青木・2 (15-4) 小林  
2 (15-4) 佐々木  
(一般) (日大二高)  
三位 西村・辻組(羽桐会)  
小菅・宗政組(日大二高)  
女子一部ダブルス 三七組  
決勝

松下・2 (15-12) 宇治川  
2 (6-15) 3久保田  
(羽桐会) (八坂)

三位 水原・沢組(イーグル)  
小島・小島組(八坂)  
54年区少年サッカー  
後期リーグ戦

主権 区サッカー協会  
共権 区体育協会  
期間 五十五年 十二月八日  
五十六年 三月二日  
参加 一部リーグ 八チーム  
二部リーグ 十六チーム  
一部リーグ

1 石原S少年団 六勝一敗  
2 中西SSC 五勝一敗一分  
3 豊SSC 五勝一敗一分  
4 上北S少年団 三勝三敗一分  
5 大一小SSC 二勝四敗一分  
南町キッカーズ 一勝三敗三分  
7 富士見台SSC 二勝五敗  
二部リーグ プレーオフ

# 東京ガス練馬

練馬区錦町2-18-15 TEL 934-1181

準決勝

早宮 2  
0 0  
0 0

橋戸 2  
0 0  
0 0

石台 1  
0 0  
0 0

1学大附

決勝

早宮 2  
0 0  
0 0

石台 1  
0 0  
0 0

### 区スポーツ少年団 第二回ネットボール大会

区スポーツ少年団事業の少女ネットとして昨年より開設したネットボール大会は、第二回を迎え、三月二十一日、区総合体育館に於て開催された。

主催 区スポーツ少年団本部  
共催 区体育協会  
後援 区教育委員会  
主管 区ネットボール協議会  
一部

1 若竹ファイターズ(小竹)  
2 すずしろA (開四)  
3 ホワイトコンドル(旭丘)  
4 豊漢ガールズ (豊漢)

二部  
1 ホワイトホークス(旭丘)  
2 ブラックコンドル(開三)  
3 若竹ジュニア (小竹)  
4 キングアタッカーズ(豊東)

### 区スポーツ少年団 第一回ミニサッカー大会

区スポーツ少年団事業としての初のミニ、サッカー大会は、三月二十一日、中大グラウンド跡地に於て一部 四チーム、二部 四チームが参加して行われた。

主催 区スポーツ少年団本部  
共催 区体育協会  
後援 区教育委員会  
主管 区サッカー協会  
一部

三位決定  
豊東A 2-0 橋戸A

決勝  
中西A 5-2 早宮A

二部  
橋戸小B 3-0 FC北原A  
橋戸小A 2-1 豊東小A

三位決定  
FC北原 4-2 豊東小A

決勝  
橋戸A 3-2 橋戸B

### 区スポーツ少年団 第二回女子ソフトボール大会

#### 上石神井北小クラブ 石神井小を破って初優勝

日時 四月二十六日・二十九日 二十九日  
場所 中大グラウンド跡地  
主催 区スポーツ少年団本部  
共催 区体育協会  
後援 区教育委員会

準決勝  
石神井小 10-4 関北小  
上北小 31-0 八坂四一

決勝  
上北小 10-1 石神井小

第一回大会で同点引分け、抽籤負けとなり初戦で涙をのんだ上石神井小と、その時の対戦相手、前回優勝の石神井小と決勝戦であいまみえた。



上北小の積極作戦が功を奏し、打撃爆発、着々と加点大差で宿敵石神井小を破り、優勝に輝いた。新学期、早々の大会で各チーム共新編成の悩みに加えて、練習不足が目についた。各チーム共、秋の大会に向けて、練習を重ね、第三回大会には、多くのチーム参加と、充実した内容を期待したい。

<p>関口興油(株)</p> <p>石神井町 8-40-11 TEL 996-1520</p>	<p>ビュー総業(株)</p> <p>高野台 2-27-20 TEL 995-4311</p>	<p>天ぷら 日よし</p> <p>高野台 3-39-5 TEL 996-1547</p>	<p>梶山建設(株)</p> <p>豊天北 6-3 TEL 994-3111</p>
---	---	---	--

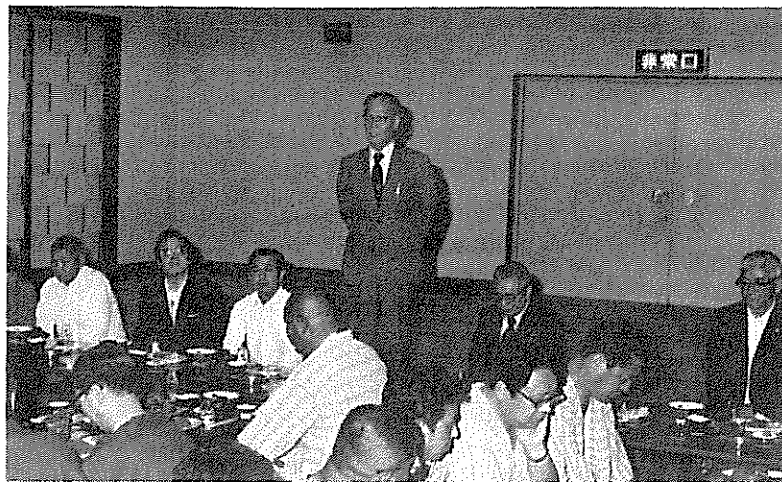
第六回 幹部研修会

体協加盟二十六団体の幹部研修会は、六月十三日・十四日所沢市の国民宿舎「湖畔荘」に於て開催した。

- 午後二時三〇分 開講式
- 前田体協副会長挨拶
- 〇都民体育大会・成績報告
- 〇研修テーマ 司会 山平 誠
- 「よりよい社会体育づくりのため」

〇問題提起  
 ・歴史的にみた区体協と区教委との関係  
 寺崎 武副理事長

- ・区教委として 代田主事
- ・体協と加盟団体
- ・各団体の確立
- ・体協の執行と協力



挨拶する岩波教育長

野口副理事長  
 三者より約四十分間にわたって説明がなされ四班に別れてグループをつくりバズセッション討議を行った。

午後六時三〇分  
 全園大広間に集り懇談夕食会  
 〇岩波教育長挨拶  
 〇奥山体協副会長挨拶と乾盃  
 参加者より次々と贈し芸が披露され、和気あいあいの中に終了  
 午後八時三〇分 開散  
 十四日  
 午前八時三〇分・全体会議  
 〇競技場（施設）の利用調正  
 〇事務連絡者の指名と任務  
 〇体協、加盟団体の強化と連携  
 〇区教委と一体になっての活動  
 〇各競技団体間の交流友好  
 各項目についてのとりまとめが行われた。

A班  
 ・小学生参加と学校との関係  
 ・青少年委員を活用してのバイン

〇研修会の場で、大会、教室等で大きな成果をもつ代表の体験発表  
 B班  
 ・区教委への提出書類の内容統一のため、書式サンプルの作製  
 ・体育施設の利用方法、受け入れ体制、民間施設と行政との関係

C班  
 ・行政と体協と各団体  
 ・体協の強化と共に、行政への圧力団体として力をつけるべき  
 ・行政と一体になっての普及活動

〇スポーツの拡大  
 ・加盟団体間の協力を推進  
 D班  
 ・各団体の事務連絡者指名と正確な仕事、ペナルティーの検討  
 ・全団体の交流方法  
 ・各競技の相互の理解  
 以上の様な項目が、それぞれの班の代表より発表がなされ、之が集計された。

〇グループ発表  
 全体討議は十四日午前中とし、第一日を終了した。

お問い合わせ  
 体協ニュースも第一号を昭和五十二年七月発行して以来、満四年を経過し第十六号「発行となりました。年四回平均、中断することを発行出来ずした。  
 内容の充実を計るため、各位よりの投稿を心からお待ちしております。  
 東京都練馬区中村北一一九  
 練馬体育協会  
 代表 小口 政雄  
 編集 野口 嘉郎  
 TEL 九三三一一二二二七三

<p>つつみミート                  堤 嶺夫                  田柄 2-13-5                  TEL 977-2981</p>	<p>三笠製薬(株)                  豊玉北 2-3</p>	<p>キノ精密工業(株)                  豊玉北 1-26                  TEL 994-3131</p>
--	---	--